

令和5年度 事業報告

令和5年4月1日～令和6年3月31日

NPO 法人アートコラールきくがわ



ホームページ：<https://www.ackikugawa.net/>



1.事業成果

「出会いとつながりをデザイン！」をモットーに、NPO・行政・学校・企業などをつなぎ、それぞれの活動を広げるための身近なコーディネーター・相談役として、地域活動の活性化に寄与した。また、菊川市役所庁舎東館「プラザきくる」を当法人の活動の拠点とし、様々なイベント開催を支援することで、まちの賑わい創出や高校生等の若者の活躍の場の提供に繋がった。

(1)中間支援事業

市民活動の相互連携のコーディネーターとして、地域活動を展開する NPO・行政・学校・企業などに積極的に関わり、協働を推進した。主に菊川市市民協働センターを受託・運営する中で、市民活動に関する相談や団体設立の支援をはじめ、各種講座やセミナーの開催、広報紙やホームページにより事業や団体紹介等の情報発信を行った。

また、令和5年4月にこども家庭庁が設置され、子ども基本法が施行されたことをきっかけに全国的にこども若者支援事業に注目が集まる中、今まで当 NPO が取り組んでいた事業を発展させ、継続的に若者がまちづくりに関わる菊川まちづくり部(若者議会)を創設した。さらに、NPO 法人わかもののがまちが主催する「わかもののがまちサミット 2024」に協力し、開催地として「こども・わかもの参画宣言」の策定を全国に先駆けて取り組むなど様々な事業を展開した。

(2)芸術文化支援事業

まち×ひと×アートプロジェクトでは、令和5年度も高校生が表現力や発想力、豊かな感性を発揮し、地域の人たちと交流を継続し深めた。また、事業を継続していくなかで、企業、地元商店街、個人事業主などが新たに参画するなど、アートの持つチカラで、多くの人に感動と喜びをもたらし、賑わいの創出に繋がった。

(3)まちづくりネットワーク事業

中間支援・アートを活用した支援団体として、これまでの取り組みで培った、ネットワークや経験を活かし、中東遠地域をはじめ県内各地において広く、協働のコーディネーターとしての役割を果たした。また、菊川市から受託した賑わいづくり事業は、菊川市の魅力や菊川茶の文化的価値を東アジアや世界に発信することを目的に開催。市内ブラジル人学校や多文化共生を目的にする NPO などと協働しながら事業を進め、イベントを通じて多くの外国人住民と地域住民の交流が図られた。

2. 実施概要

(1) 中間支援事業

① 菊川市市民協働センター受託事業

多様な主体をつなぐコーディネート

市民協働センターを協働の中間支援機能の中心に位置づけ、その機能を充実することにより多様な主体をつないだ。

市民協働センターと他の関係機関等との交流の活性化

開催日：令和6年3月7日

会 場：菊川市市民協働センター

参加者：10人

市民協働センター、社会福祉協議会、
菊川市役所地域支援課・社会教育課・長寿介護課

概 要：市民の公益的な活動をサポートするボランティア活動支援センター（市民協働センター、社会福祉協議会ボランティアセンター、教育委員会ボランティアセンター等）の機関が連携強化を深めるための連絡会に参加した。また、連絡会の開催以降もそれぞれのセンターが実施する事業等について、情報共有や意見交換を行い、連絡強化を図っている。

市民活動団体交流会「きくせん交流会」の開催

開催日：第1回：令和5年12月2日

第2回：令和6年3月16日

会 場：プラザきくる3階会議室

対 象：市民協働センター登録団体

参加者：13人、6人

概 要：センター登録団体の様々な分野の市民活動団体が集まって、団体の紹介や日ごろ困っている課題や、活動概要等についての情報交換を行った。
また、登録団体の菊川ナビ代表の稲垣佑一郎氏に講師を依頼し、団体の情報発信に必要なInstagramの活用方法について学んだ。



ランチミーティングの開催

開催日：令和5年4月3日、6月1日、8月1日、10月2日、12月1日
令和6年2月1日

*原則として偶数月の1日開催

会 場：菊川市市民協働センター（会場及びオンライン）

対 象：一般

参加者：延べ31人+スタッフ

概 要：地域のことに関心があり、誰かとつながりたい人や活動をPRしたい人が気軽に集まり、楽しく交流を図った。



夕暮れカフェの開催

開催日：5月12日、7月4日、9月1日、11月1日、令和6年1月11日、3月8日

会 場：菊川市市民協働センター

対 象：一般

参加者：延べ59人 + スタッフ

ゲスト：5月 日本語ボランティア 西川 充さん

7月 茶農園管理・お茶刈り機的设计・販売 栗田裕之さん

9月 (有) YS警備 遠藤正則さん

11月 常葉大学附属菊川高校 小杉晋也さん

1月 営業戦略アドバイザー 鬼石真裕さん

3月 日本語パートナーズ ナヤー友里佳さん

概要：菊川市で活躍するユニークな人をゲストスピーカーに迎え、テーマに興味・関心を持った参加者が学び、交流する機会を創出した。



ひろまちコラボ開催のサポート

開催日：毎月第2火曜日

会場：きくる広場～JR菊川駅周辺

参加者：市民、市民活動団体、金融機関、企業等の有志、地域おこし協力隊など

概要：ひろまちコラボは、“ごみ”を“ひろう”ことにより“まち”を広げることをテーマに毎月1回早朝30分の活動。ゴミ拾いをしながらの様々な団体や企業等が交流を深め、定期的で開催することで、地方銀行、信用金庫等のCSRとして定着してきた。センター登録団体きくがわ未来会議が主催する事業を全面サポートしている。



企業のCSR活動等の相談対応

実施日：年間を通して

会 場：菊川市市民協働センター

参加者：企業、市民活動団体、行政等

概 要：地域での活動を考える企業からの相談に、当NPO会員の専門家やCSRリーダーの認定者が応じ、大手企業や地元企業など様々な企業の地域での活動のきっかけや他の機関との連携につなげた。

今年度からCSRに力を入れる地元企業が現れ、年間を通じて、様々な市民活動団体との連携、協働の取組みの支援を実施した。

地域コミュニティ活性化事業① コミュニティ活動マッチング事業

実施期間：年間を通して

対 象：コミュニティ協議会、市民活動団体、学生等

概 要：地域活動の担い手不足や企画作成に負担を感じている地区コミュニティ協議会と、新たな活動の場を求めるNPO等とのマッチングを図り、Win-Winの関係が築けるように支援した。

【マッチング事例】

- ・ 西方地区コミュニティ協議会×高校生「西方宿題会」
- ・ みなみやまコミュニティ協議会×NPO・大学生「菊川駄菓子屋」
- ・ みなみやまコミュニティ協議会×NPO「ノルディックウォーキング」
- ・ 六郷まちづくり協議会×NPO×「タイルで楽しむワークショップ」
- ・ みなみやまコミュニティ協議会×大学生「みなみやま会館まつり出展」
- ・ 内田コミュニティ協議会×菊川まちづくり部「地区センター祭り出展」
- ・ 六郷まちづくり協議会×NPO「フェイスブック講座」
- ・ 河城地区コミュニティ協議会×NPO「タイルで楽しむワークショップ」



地域コミュニティ活性化事業② NPO 活動のリスト化

実施期間：年間を通して

対 象：市民活動団体、学生等

概 要：各地区コミュニティ協議会が活動を企画・検討する際の参考になるように、市民協働センターの登録団体を対象に、講座やワークショップのリスト化を進めた。

【リストの内容】

- ・アウトドア防災講座
- ・馬とのふれあい体験会、
- ・IT リテラシー教育講座
- ・手作り品ワークショップ講座 など

協働の担い手支援

協働による地域づくりを進めていくためには、その担い手が活動を継続・発展できる場が必要である。協働の担い手の基盤強化や活動の支援につながる取り組みを進めた。

市民活動スキルアップ講座「やってみよう！ゼロから学べるファシリテーション」

開催日：第1回 基礎編 令和5年5月28日

第2回 応用編 令和5年6月4日

会 場：市役所庁舎東館プラザきくる3階会議室

講 師：NPO法人わかものまち 鈴木貫司氏

参加者：11人 活発な話し合いのコツを知りたい人、まちづくりや地域活動に関心のある人

概 要：話し合の場で意見がうまくまとまらない、参加者が消極的。そんな時一人ひとりを尊重し、円滑なコミュニケーションを後押しするファシリテーションについて、基礎編と実践編を通して現場で役立つスキルを学んだ。

内 容

第1回 (1) 講義「ファシリテーションとは」

(2) GW「良い話し合い、悪い話し合いとはなんだろう？」について話し合い、全体で共有

第2回 (1) オリエンテーション、人間マッピング

(2) GW「参加者の不安について」

(3) 「4つの懸念」、「冰山モデル」、「ジョハリの窓」

(4) GW「観る」



コミュニティ協議会 懇話会

開催日：第1回 令和5年9月7日
 第2回 令和6年1月19日

会 場：市役所庁舎東館プラザきくる3階会議室

参加者：第1回 29人（市内11地区コミュニティ協議会役員・事務局）
 第2回 28人（市内11地区コミュニティ協議会役員・事務局）

概 要： 先進事例紹介や情報交換会等を通じて、各地区コミ協役員等が自らの地区の現状を客観的に把握するとともに、他地区や市民協働団体との協働のきっかけづくりを目的に開催した。第1回目では、各地区11月の地区センター祭りに向け準備を進めている中で、他地区の様子について知ってもらう時間となった。第2回目は、「未来の菊川」をテーマに、これからの地域活動について考えるため、先進的な取り組みを行うコミュニティ協議会や市民協働センターの事例を紹介した。その後、「10年後、20年後の菊川のためにできること！」をテーマにグループワークを実施した。



常設的な相談窓口の設置・開設

開催日：年間を通して

会 場：菊川市市民協働センター

対 象：市民、市民活動団体、行政、学校企業

対 応：市民協働センタースタッフ

相談数 634件

概 要：団体運営で生じる様々な問題に対応するため常設の相談窓口を設置。

地域活動のはじめの一步の後押しをはじめ、団体設立、助成金の申請支援、NPO法促進事務に関する手続き、団体間の連携や学校、企業や行政からの様々な相談に応じた。

専門家相談会の開催

開催日：年間を通して

会 場：菊川市市民協働センター、専門家事務所、オンライン等

対 象：主に市民活動団体

対 応：当法人会員の専門家

行政書士、税理士、中小企業診断士、ソーシャルビジネスアドバイザー

市民協働センタースタッフ

概 要：市民活動団体からの経営や資金確保、労務管理等のニーズに合わせた専門的な相談への対応するため、当NPOの会員である行政書士や税理士、中小企業診断士、ソーシャルビジネスアドバイザーによる専門相談会を随時開催している。

主に、行政書士によるNPO法人設立に必要な申請書類の最終確認や税理士による認定NPO法人からの税務管理、ソーシャルビジネスの相談に対応した。



情報紙の発行 センター広報紙「きくせん通信」

発行：毎月1回 第3木曜日

配布：毎回2,000部発行、市内自治会回覧、公共施設等に配架。市民協働センター主催の講座やセンター来館者に配布。

概要：多くの市民に地域活動に関心を持ってもらうため、市民協働センター主催のセミナー・イベント特集をはじめ、きくがわまちづくりNEWSの紹介、市民活動団体のイベント案内、菊川で活躍中のひとのインタビュー等を掲載した。



ホームページやSNS等による情報発信

実施日：年間を通して

情報発信数：市民協働センター フェイスブック494件 ホームページ更新23件

概要：市民活動団体や社会貢献に関する情報を広く発信することで、市の魅力等につなげ、情報発信を行った。また、多目的エリアの利用方法や市民活動団体のイベント・セミナー情報・報告などを配信するインスタグラムを開設し、特にフェイスブックの利用率の低い、高校生等への登録促進を図った。

* 菊川市市民協働センターホームページ <https://www.kikucen.net/>

協働への参画機会の拡充

協働の取り組みを活性化するため、組織や活動の形態に関わらず、多くの市民が地域のこと自分事として考え、地域活動に一步踏み出すことができるよう、活動のきっかけづくりや活動の場の拡充を図った。

市民協働人材育成講座

きくがわ高校生まちづくりスクール

開催日：令和5年6月11日、6月17日、8月19日、9月16日、10月17日

会場：プラザきくる3階会議室

講師：土肥潤也氏（NPO法人わかものまち代表理事、
こども家庭庁こども家庭審議会委員）

参加者：高校生5人、サポーター3人

概要：第1回 チームをつくろう

第2回 まちづくりって何？

*市内NPOへのインターシップ

第3回 中間報告会

第4回 マイプロジェクト会議

第5回 最終報告会

*コメンテーター 長谷川寛彦菊川市長、静岡大学井柳美紀教授



高校生の企画やアイデアをまちづくりに生かすため、高校生が主体的にまちづくりに参加する機会として開催した。今回は、参加者5人がそれぞれのマイプロジェクトについて企画提案・実践を行った。全5回の講座以外にも市内NPO法人でのインターンシップを体験し、また市民協働センターがプロジェクトの支援をすることで実現可能なプロジェクトにまとめた。10月17日、菊川わかものまちづくり公開プレゼンテーションにおいて、菊川まちづくり部と合同でプレゼンテーション発表を行った。約50人の来場者に対し、自らが企画・実践するマイプロジェクトについて発表した。





【高校生の発表内容・実践事例】

- (1) にこやカフェ「ほっとする広いつながり」をテーマにカフェをオープン
- (2) International Cook Off ～日本人と外国人がお互い交流できる料理教室を開催～
- (3) 簿記勉強会 1人では学ぶのが難しい簿記を初心者対象に交流しながら学べる講座
- (4) 小学校へのイメージ教育の導入について
～小学生の頃から英語に触れ、親しめるような授業を実践～
- (5) Book up ～自作絵本の読み聞かせを通したコミュニケーションの取り組み～

(1) にこやカフェ



(2) 多文化料理教室



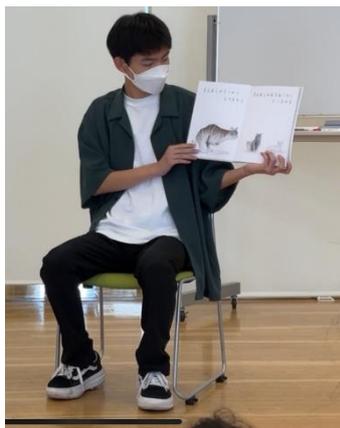
(3) はじめての簿記の勉強会



(4) えいごであそぼう



(5) Book up



きくがわ未来塾

開催日：令和5年6月21日、7月12日、7月26日、8月9日

会場：市役所庁舎東館3階会議室

講師：飯倉清太氏（NPO法人サプライズ代表理事・内閣府地域活性化アドバイザー・静岡県地域づくりアドバイザー・静岡大学地域創造学環客員教授）

アドバイザー：宇佐美竜一氏（きくがわ未来会議・team439）

参加者：9人 最終報告会 約40人

概要：第1回：オリエンテーション 未来塾とは？

第2回：個人企画発表&チーム分け

第3回：企画のブラッシュアップ、ミーティング、プレプレゼンテーション

第4回：最終報告会 公開プレゼンテーション

多くの市民が地域のことを自分ごとと考え、地域活動に一步踏み出すことができるよう、協働の担い手となる人材の育成や活動のきっかけづくりとなる講座を開催した。菊川市の地域課題の解決や魅力発信のため、市民の自発的・積極的な活動への参加啓発を図るとともに、新たに市民活動に取り組むことができる人材を育成するための講座。

【塾生の発表内容】

- (1) いなかりる～何もないをブランドに～
河城地区の魅力発信と観光コンテンツの創出
- (2) 魅力的な子育てのまち菊川の発信
子育て情報をSNSで発信
- (3) 菊川のシゴト体感プロジェクト
小学生の地元企業の職場体験の実施



- (4) 静岡県35市町の可燃ごみ指定袋の研究ごみ袋と向き合ってみた！
指定ごみ袋の研究とサステナブルシティ菊川に向けての取り組み
- (5) きくがわJOBフェア～企業のぶっちゃけ話も聞けるかも!?
企業と学生のマッチングイベントの開催
- (6) 菊川まるごとデジタル化！～スマホを使いこなそう～
シニア層へのスマートフォン教室とスマートフォンアドバイザーの育成
- (7) 地域資源を活用した生活講座～地域の宝を生活に生かそう～
高校や農家と連携した小中学生への食育講座



【受講生の実践事例】

○いなかりるツアー（関係人口創出を目的に菊川市の魅力再発見）



○きくがわJOBフェア（地元企業と学生のマッチングイベント）

協力企業：(株)アイデア、島田掛川信用金庫、矢崎部品総業(株)、
グローバルデザインスクール、菊川市役所、菊川市消防署 等



「企業のおっちゃけ話が聞けるかも!?」
きくがわ JOBフェア
12.16(土) 9:30~12:00
場所：菊川市役所集会所2階
参加費：無料
申込費：無料
◎参加学生の交通費一部支給あり！

●ご案内
本イベントは、就職活動特有の不安や悩みを解消し、ご参加は一切なし！
さまざまな業界・業種の企業のお話を聞ける絶好のチャンスです。
就職活動に悩んでいるあなたへ、大学の先輩からアドバイスをいただきます。
就職活動を見えた先輩大学生によるお悩み相談ブースも設けてまいります。
ぜひご参加ください！

●当日の流れ
01 参加企業によるプレゼン 行政・金融・福祉・保険
NPO法人・自治体など
さまざまな業界・業種の企業のお話を聞ける絶好のチャンス！
02 学生と企業の対談 さまざまな業界・業種の企業のお話を聞ける絶好のチャンス！
03 就職活動を終えた 就職のポイント
先輩大学生によるお悩み相談 筆記・面接対策
何でも相談にのります！！

●参加方法
右のQRコードからお申し込み下さい。
主催：菊川市生涯学習センター
運営：きくがわ未来塾 川崎聖友会(常盤大学4年) 川崎聖友会
電話/FAX: 0537-35-2230 Eメール: kikucen1@naga-u.ac.jp

NPO法人訪問

実施期間：令和5年4月17日～5月27日

会場：NPO法人の各活動場所（事務所）等

対象：菊川市内NPO法人（19法人）

概要：市内で活動しているNPO法人を訪問し、現状や課題のヒアリングを行い、各団体の状況把握をするとともに、これからの活動に向けた意見交換や、支援策の紹介を行った。また、夏休みの中高生NPO体験セミナーへの協力を依頼した。毎年、年度当初に継続してNPO法人を訪問し、団体の運営や活動の状況取材し積極的に情報発信することで、NPO法人との信頼関係を築いている。



きくせん協働ガイドブックWEB版発行

概要：多くの市民に市民活動に関心を持ってもらうきっかけづくりや、団体同士や企業との協働促進を図るため、センター登録団体93団体の活動概要や協働事例、企業のCSR活動、協働センターの事業等を1冊にまとめた冊子を更新した。また、ホームページからも閲覧、ダウンロードできる。

掲載団体：93団体、掲載企業：16社 発行部数：300部

配布先：菊川市役所関係課、公共機関、高校、視察者等へ配布。

市民活動・社会貢献活動への参加啓発

実施日：令和6年3月3日（ミーティング・準備1月24日～8回）

会場：静岡アウトドアフェスin菊川への出展

参加者：高校生5人（市内外3つの高校）

概要：中高生世代を対象に社会貢献活動への参加啓発を目的に、まちづくり部の高校生が声掛けをした参加者がイベントの企画・出店を主体的に行った。イベントの準備段階から様々な地域の人たちとの交流を通して、地域で活動する楽しさを体験した。



菊川まちづくり部(ユースカウンスル菊川)

概要：高校生だけでなく大学生世代・若者も継続的に菊川のまちに関わることができる場として発足。アクションだけでなく、ユースカウンスルとして若者の声を集め、政策提言まで行うことを目標に活動している。

対象：高校生、大学生など25歳までの若者

参加者：0期 18人 高校生11人、大学生6人、社会人1人

1期 15人 高校生9人、大学生6人

テーマ：0期「観光」「菊川駅前活性化」「自然」「スペース」

1期「ユースセンター設置」「ユースボイス」「情報発信」「菊川魅力化」「農業」

活動

- ・ 4/3,4/4,4/9,4/10 まちづくり部事前・事後レクチャー
- ・ 4/8 まちづくり部全体ミーティング
- ・ 5/13 サンカノーボードゲーム交流会
- ・ 5/20 まちづくり部 尾山台タタタハウスへのオンラインインタビュー
- ・ 5/21 まちづくり部 NPO法人里山再生クラブ訪問
- ・ 5/26 まちづくり部 営業戦略課へのインタビュー
- ・ 5/27 まちづくり部 NPO法人Earth Communication視察
- ・ 6/14 尼崎市ユースカウンスルUp to you との打ち合わせ
- ・ 6/16 全国ユースカウンスル交流会への参加
- ・ 6/25 尼崎市ユースカウンスルとのオンライン交流会
- ・ 6/27 全国わかものものまちサミット分科会のまちづくり部参加についての打ち合わせ
- ・ 7/1 NPO法人里山再生クラブ訪問・竹の伐採
- ・ 7/4 まちづくり部アエル夜市出店の相談
- ・ 7/7 まちづくり部七夕プロジェクト実施（駅前活性化）

- ・ 7/8 まちづくり部全体交流会
- ・ 7/20 商工会での夜市出店説明会に参加
- ・ 7/24 尼崎市ユースカウンスルUp to youとの交流
- ・ 8/4 NPO法人里山再生クラブ訪問（自然環境）
- ・ 8/10 まちづくり部全体ミーティング
- ・ 8/11 まちづくり部夜市出店
- ・ 8/12 アエル清掃（夜市）・ 8/22 交流会の実施 他では聞けない公務員の話
- ・ 8/25 中間報告会
- ・ 9/28 まちづくり部駅前企画（駅前活性化）
- ・ 9/30 まちづくり部フォトロゲイニング企画（観光）
- ・ 10/5 まちづくり部駅前企画（駅前活性化）
- ・ 10/9 竹灯籠ワークショップ実施
- ・ 10/17 公開プレゼンテーション
- ・ 10/19 まちづくり部駅前企画実施
- ・ 10/20 こども家庭庁ヒアリング
- ・ 10/22 わかもののまちサミットプレ企画
- ・ 10/28 ボードゲーム交流会実施
- ・ 10/28 灯りの散歩道ブース出展
- ・ 11/19 若者のまちサミット前日企画 活動発表
- ・ 11/30 市1%地域づくり活動交付金リハーサル
- ・ 12/9 振り返りミーティング
- ・ 2/8 新城市訪問についての打ち合わせ
- ・ 2/10～11 第1期 キックオフデイキャンプ
- ・ 2/13 新城市訪問についての打ち合わせ
- ・ 2/20 まちづくり部入部希望者への事業説明
- ・ 3/8 磐田市政策推進課 交流会打ち合わせ
- ・ 3/17 ユースカウンスルフォーラム登壇



菊川市こども・わかもの参画協議会

概要：菊川市において、こども・若者のまちづくり参画を推進するために、菊川市こども・わかもの参画協議会を設置し、「菊川市こども・わかもの参画宣言」の内容の協議を重ね、高校生や大学生など若者当事者の意見を最大限反映しながら、「菊川市こども・わかもの参画宣言（案）」をまとめた。

日時・内容：

- 第1回 6月15日 課題意識の共有
- 第2回 7月21日 課題整理・アンケート中間報告
- 第3回 8月18日 アンケート結果報告、宣言の内容検討
- 第4回 9月15日 宣言の内容検討、宣言の告知方法
- 第5回 10月19日 宣言の最終確認、宣言の告知方法

アドバイザー：土肥潤也氏（NPO法人わかもののみち代表、こども家庭庁審議会委員）

委員：若者当事者（高校生5人、大学生1人）、高校教員、企業、NPO、中高生保護者、行政関係課 計18名

事務局：菊川市市民協働センター



こども・若者の意見を反映させるための取り組み

①市内中学生、高校生への意識調査アンケートの実施

対象：市内中学、高校、ブラジル人学校の生徒。1,020人から回答を得た。

概要：生徒に配布されているタブレットやスマホで回答できるWebアンケートを実施。結果は菊川市市民協働センターのホームページでも公開。

実施時期：6月15日～30日

②市内高校生ワークショップの実施

概要：意識調査アンケートでは拾いきれない若者の生の声をワークショップを通して聴いた。

テーマ：こども・わかもの声を届けるには？

開催日：令和5年7月11日、12日

参加者：高校生計34人参加（小笠高校・常葉大菊川高校）



わかものサミット2023@菊川市への協力

日時：令和5年11月19日、前日企画 11月18日

会場：菊川市役所庁舎東館プラザきくる全館

常葉大学附属菊川高等学校講堂*事前実行委員会への参加

主催：NPO法人わかものまちなち

共催：菊川市市民協働センター、常葉大学附属菊川高等学校

協力：菊川市、菊川まちづくり部、新城若者議会、小笠高等学校

参加者：約300名 前日企画（11/18）65名

概要：全国で若者のまちづくりに取り組む実践者や自治体関係者、若者当事者がお互いの先進事例や研究から学び、各地の実践を励ますネットワークを構築する。菊川市では今回のテーマ「こども・若者参画の生態系をつくる」の事例を高校生と市民協働センターが発表した。また、前日企画は菊川まちづくり部の学生と他県の若者が企画し、市内の若者の5つの取り組み事例や交流会を開催した。



【サミット当日】



全体会へ登壇



参画宣言



会場にて記念撮影



実行委員と若者委員

【前日企画】

菊川市内の若者事業の活動報告

- ・きくがわ高校生まちづくりスクール
- ・菊川市こどもわかもの参画協議会 若者委員
- ・菊川まちづくり部
- ・小笠高等学校 農業系列(小さな収穫祭)
- ・常葉大菊川高校美術・デザイン科

○若者交流会

○大人交流会



菊川市こども・わかもの参画宣言のこども・若者版の制作と広報のための支援

概要：こども・わかもの参画協議会の若者たちが、小中高校生に宣言内容をよりわかりやすく伝えるため、宣言のこども・若者版を小中学生にヒアリングしながら作成した。その後、市内の中学校を訪問し、主に生徒会や専門委員などに宣言を広める広報活動をした。

実施日：令和6年2月20日、29日

会場：菊川西中学校、岳洋中学校



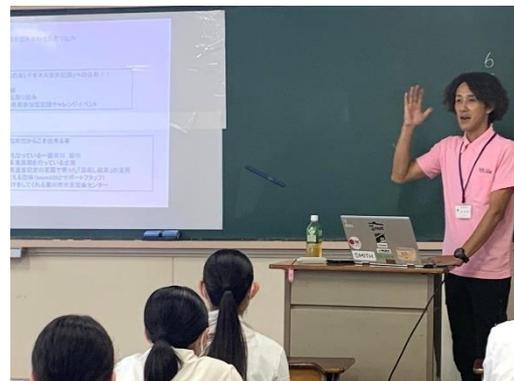
高校との連携 課題解決型キャリア教育 社会人講師の紹介

実施日：令和5年7月2日

会 場：静岡県立小笠高等学校

対象者：総合高校1年生約150人

概 要：高校が実施する課題解決型キャリア教育「菊川のプロフェッショナルに学ぶ 大人を巻き込む企画作り」の授業を行う社会人講師紹介9人（総合高校・9系列）を紹介。講師は主に人材育成講座修了生など地域で活躍する人が高校生を対象に講話し、高校生たちが地域課題を解決するための企画を考案するためのきっかけづくりをした。



高校との連携 きくがわみらい学講座

実施日：令和5年7月9日

会 場：常葉大学附属菊川高等学校

対象者：高校1年生約370人

概 要：常葉大学附属菊川高校の「みらい学講座」では、地域の課題を発見して高校生が解決に向けて実践する探求活動を行っている。その一環で、市民協働センタ

ーが、市内の高校生が活躍する事例を紹介しながら、自分の思いから地域をつくっていくことの大切さを話した。

その他登壇・訪問一覧

- ・4/26 常葉菊川高校連携協定に関する打ち合わせ
- ・6/28 常葉菊川高校 一貫コースの授業登壇の打ち合わせ
- ・6/29 常葉菊川高校 探求授業の講師登壇
- ・7/14 常葉菊川高校 探求の時間のカリキュラムについて相談
- ・7/21 常葉菊川高校 探求授業の講師登壇
- ・7/28 常葉菊川高校 探求授業の講師登壇
- ・9/14 常葉菊川高校 探求学習についての打ち合わせ
- ・9/19 常葉菊川高校 地域連携についての打ち合わせ
- ・9/21 常葉菊川高校 高校生探求学習相談
- ・10/12 常葉菊川高校 高校生探求学習相談
- ・11/2 常葉大菊川高校 探求学習の打合せ
- ・1/25 常葉菊川高校 探求学習コメンテーターとして参加
- ・2/8 常葉菊川高校 探求学習コメンテーターとして参加



その他 中学校、高校、大学との連携事業

目 的：若い世代の発想や行動力を地域活性化のために、最大限発揮してもらうためのサポートを行う。

時 期：年間を通して

内 容：高校や大学からの依頼で様々な事業に関するサポートを行った。小笠高校：主に福祉系列の映面上映会の広報やビジネス系列の竹灯籠づくりワークショップ。また、農業系列の新規事業の相談対応、協力団体の紹介等を行った。

学校と地域連携のための勉強会

概要：地域においての学校の役割や学校と地域の連携について学ぶことを目的に、近隣高校の教員との連携し勉強会を実施。NPO法人わかものまちが主催する勉強会を市民協働センターが共催として開催。

【第1回】

日時：令和5年11月24日

会場：プラザきくる3階会議室

ゲスト：NPO法人みらいずworks 理事 角野仁美氏、
グローバルデザインスクール（株）相津悠平氏
NPO法人しずおか共育ネット 代表理事 井上美千子氏

【第2回】

日時：令和6年2月16日

会場：プラザきくる3階会議室

ゲスト：島根県立太田高等学校元コーディネーター 森下真帆氏

参加者：高校教員（常葉大菊川高校、小笠高校、掛川西高校、榛原高校、池新田高校、掛川工業高校、相良高校、静岡高等学園等）行政職員、NPO法人等



講演等の依頼

- 令和5年7月29日 静岡大学シンポジウム「若者が集える地域づくりと大学の役割」
- 令和5年12月3日 こども若者参画研究会
- 令和5年12月9日 牧之原市地域リーダー育成プロジェクト
- 令和6年2月17日 神奈川県大和市市民活動センター講演会
- 令和6年2月22日 新潟県NPO法人みらいずworks勉強会
- 令和6年2月25日 千葉県白井市「しろいワカモノ×まちづくり作戦会議」
- 令和6年3月18日 静岡市市民活動促進協議会





菊川市役所庁舎東館「プラザきくる」多目的エリアの運用と賑わい創出

時 期：年間を通して

対 象：市民、市民活動団体、学校、企業、行政等

概 要：菊川市の賑わい創出の核となる庁舎東館「プラザきくる」多目的エリアの柔軟な運用や利用促進を図る。

日常業務

○多目的エリアの運用、利用促進

予約スペース利用延べ1,242人・フリースペース利用延べ30,578人

多目的エリアは高校生を中心に多くの方に利用されている。

○イベント情報の収集・整理と発信

多目的エリアを利用する人を対象に、ロゴフォームを活用して簡単なアンケート調査を実施できるようにしている。多目的利用者は高校生や若者が多いので、そうした世代の声を集める手段として始めた。

○イベントの相談・支援

市民・団体の「アイデア」や「やってみたいこと」の実現に向けた相談・支援体制の強化を図った。

○視察の受け入れ 17件

千葉県袖ヶ浦市議会、東海村、東海村議会、長野県富士見町議会、宮崎市役所など



スタッフ研修・視察

目的：市民協働センターのスムーズな運営とセンター利用者へのサービス向上のため。

時期 内容

- 5月31日 ふじのくにNPO活動支援センター 中間支援スタッフ研修
- 6月6日 ふじのくにNPO活動支援センター 中間支援スタッフ研修
- 9月12日 地域おこしセミナー
- 9月14日 情報発信委員会研修
- 9月19日 ふじのくに関係人口創出ラボ
- 9月28日 NPOボランティアマネジメント講座
- 9月29日 静岡県自治体こども・若者意見反映勉強会
- 10月12日 NPOボランティアマネジメント講座
- 10月27日 ふじのくにNPO活動支援センター 中間支援スタッフ研修
- 12月7日 静岡市Ship、コ・クリエーションスペース視察
- 12月12日 三島市関係人口先進地ツアー
- 12月14日 関係人口創出ラボ
- 12月19日 ふじのくに未来財団ガバナンス講座
- 1月20日 KOBE居場所フォーラムへの参加
- 1月21日 尼崎市ユース交流センター視察
- 1月22日 NPO法人サニーサイド視察
- 2月6日 ふじのくにNPO活動支援センター 中間支援スタッフ研修

菊川市賑わいづくり創出事業への協力

実施期間：年間を通じて

概要：菊川市賑わいづくり研究会への参加（隔月1回）し、産学官民金の関係者との情報共有することで様々な取り組みのきっかけとしている。

その他協働推進に関する業務

菊川市協働推進委員会への出席

実施日：第1回 令和5年7月26日

第2回 令和5年12月19日

会場：菊川市役所庁舎東館プラザきくる

概要：「菊川市協働の指針」に基づく、施策の実施内容及び仁直状況の評価等が行わ

れた。第2回推進員会では市民協働センターが取り組んだ「菊川市子ども・わかもの参画宣言」について説明が行われた。

菊川市庁内協働ワーキンググループへの協力(講師)

実施日：令和5年6月12日

会 場：菊川市役所東館プラザきくる

参加者：菊川市役所職員

概 要：市が主催で行っている事業への協力。職員の協働に対する意識の向上と協働による施策の展開を図るための意識改革や人材育成を目的とした研修会。市民協働センターでは、菊川市の若者のまちづくり事業についての現状などを発表した。



菊川市地域づくり活動交付金事業 審査会・報告での報告

実施日：審査会 令和5年12月2日

報告会 令和6年3月18日

会 場：菊川市役所東館プラザきくる会議室、多目的エリア

概 要：主に今年度初めて申請をする学生団体の事業計画作成や、審査会のプレゼンテーションのサポートを行った。また、当NPOが長期にわたり活用していた交付金事業を卒業するにあたり、報告会にて交付金を活用した高校との協働事業について報告した。



企業、行政共同研修 カードゲーム「SDG s de 地方創生」

開催日：令和6年3月7日

会 場：プラザきくる3階会議室

講 師：小杉普也氏 SDG s 公認ファシリテーター/常葉大学附属菊川高校教諭

協 力：常葉大学附属菊川高校 桐田教諭、中川教諭

参加者：40人（民間企業15人・市役所職員20人・高校生2人・運営3人）

概 要：SDG sを通じた地方創生について、行政と企業の異なる分野を互いに理解しながらSDG sの考え方を地域活性化に生かし、地方創生を実現するについて参加者全員が対話し考える機会となった。



②御前崎市地域協働支援アドバイザー

市民活動団体相談対応日常相談

実施期間：年間を通して20回

会 場：御前崎市役所、菊川市市民協働センター

概 要：マッチング支援、団体運営、情報発信等

市民活動スキルアップ講座

御前崎未来ゼミ

開催日:令和5年6月22日、7月20日、8月31日、9月28日、10月26日

会 場：御前崎市池新田地区センター

講 師：川口眞矢氏（NPO法人EarthCommunication代表理事・御前崎市在住）

アドバイザー：飯倉清太氏

（NPO法人NPOサプライズ代表理事・静岡県地域づくりアドバイザー）

参加者：高校生6人、大人4人

概要：第1回：オリエンテーション

第2回：アイデア発表・グループ分け

第3回：チームプラン作成

第4回：プレプレゼーション

第5回：最終報告会、公開プレゼンテーション

御前崎のまちづくりに興味のある高校生と大人が関心のあるテーマごとにチームを組み、御前崎の新しいまちづくりを企画した。3つのチームの内2つは高校生が企画し大人がサポートするなど3つのチームが高校生と大人と一緒に活動することで、地域課題解決のプロジェクトを進めることに加えて、多世代で学び交流する機会にもつながった。



【受講生が発表したプロジェクト】

- 学習スペースをつくろう！～学生の居場所を市内に～
- Book Park ～人と人の新たなつながりが生まれる場所づくり～
- 多様性×農家～働くための小さなステップを地域で増やす～

中高生NPO活動体験プログラム

開催日：令和5年7月23日・30日・8月27日

会場：御前崎市研修センター、御前崎灯台

参加者：中高生延べ10人

共催：市内NPO法人3団体

概要：中高生を対象に、地域の課題解決に取り組んでいるNPOの活動を体験することで、地域の人達との交流を通して、自己の新たな可能性に気づききっかけづくりをした。

【中高生が参加したプログラム】

- ①令和の灯台守体験と元船乗りから海・灯台の話を聞こう
- ②外国人住民と交流しよう
- ③子ども食堂でカレーを作って、みんなで食べよう！（コロナの影響で中止）



御前崎市役所 職員研修

実施日：令和6年2月20日

会場：御前崎市役所 301会議室

参加者：15人

講師：菊川市役所地域支援課 岡田祐三氏

NPO法人アートコラールきくがわ 理事長 笠原活世

概要：「協働のまちづくりを知ろう」をテーマに、講義を通して協働の基本や基礎知識の習得と市民協働の考え方や必要性、協働を進めるコツについて、菊川市や当NPOの事例を交えながら伝えた。後半のワークショップでは協働に関する講義を聞いて、各グループで協働を進めていくうえでの重要なポイントとなることを発表した。



ホームページ御前崎市市民活動情報ネットの管理

実施日：毎月15日と月末に更新（毎月2回）

概要：ホームページ管理と更新。市民活動団体の紹介やイベント告知や活動報告等



島田市協働のまちづくり推進事業審査委員会へ出席

日程：令和5年5月29日

会場：プラザおおるり多目的室

(2)芸術文化支援事業

①菊川市1%地域づくり活動交付金事業

まち×ひと×アートプロジェクト

人と人をつなぎ、誰もが気軽に参加できるアートイベントで心豊かな地域の創造、また次世代を担う若者が社会貢献に関心を高め、菊川市在住の外国人など多様な人がまちづくりに参加できる機会を積極的に作った。

きくがわ灯りの散歩道0Nハロウィーン

日時：令和5年10月28日

会場・出展内容：

きくる広場 「竹灯籠ライトアップ」

プラザきくる多目的ホール 「キクツクハロウィーンワークショップ」

菊川駅前通り商店街 「イルミネーション」

菊川赤レンガ倉庫 「ハッピーハロウィーン」

Nimus・遊歩道「キッチンカーの販売」

参加者：来場者約1,000人

概要：竹灯籠のライトアップに加え、ハロウィーンイベントを実施。当NPOは、市民、市民活動団体や学校、企業等への調整を図ることで、東館を核とした賑わい創出につなげた。竹灯籠づくりのワークショップは主に市民活動団体たねあかりの協力で実施した。ハロウィーン全般は共催の2団体と打ち合わせをしながら、2団体が企画・運営した。



竹灯籠づくりのワークショップを実施

講師は市民活動団体たねあかり、当NPOが学校・団体等の調整しスタッフとして参加。

- ①小笠高校 9月2日、16日、23日 参加者各回22人
- ②虹の架け橋菊川小笠教室 10月7日 参加者20人（小学生と教員）
- ③シイ・ソヒゾ・デ・クリアンサブラジル人学校 10月15日 参加者18人



みんなのアソビバ&小さな収穫祭

開催日：令和5年11月27日

会場：きくる広場・プラザきくる

参加者：子育て世代の親子など約500人

スタッフ：高校生約100人・大人15人

概要：常葉大菊川高校美術・デザイン科と小笠高校の市内2校がコラボレーションし、地域の人や子どもたちが楽しめる企画を実施するための企画や調整を行った。

美術・デザイン科の生徒は、地域の子どもたちに向けてアートをモチーフにしたアソビ12ブースを用意。小笠高校の生徒が考案した食料品や地元の新鮮な農産物、福祉施設とコラボした限定パンの販売を行った。

また、市内の2つの高校の生徒が互いの得意な分野で協力し、交流に発展した。



(3) まちづくりネットワーク事業

①交流促進事業業務委託事業

茶畑の中心で愛を叫ぶ（菊川チャバチュー）

開催日：令和5年10月1日

会 場：菊川中央公園

主 催：菊川チャバチュー実行委員会・菊川市

企画・運営：NPO法人アートコラールきくがわ

協 力：日本愛妻家協会、常葉大学附属菊川高校美術・デザイン科

サポーター会議：7/4・7/7・9/22・10/8・10/26

スタッフ：市関係部署や茶業協会、実行委員会、サポーター会議のメンバー等約30人

参加者：叫ぶ人17組42人、聞く人約100人

概 要：菊川市の魅力や「菊川茶」の文化的価値を東アジアや世界に発信する。

そのためにブラジル人学校や日本とブラジル人の交流促進を目的に活動するNPOや外国にルーツを持つ市民などに積極的に参加を呼び掛け参加したことで、多様な人とのかかわりのある地域・菊川の魅力を発信した。



プレイベント「きくがわジュニアアート教室」

日 時：令和5年9月17日

会 場：プラザきくる3階会議室

参加者：常葉大学附属菊川高校美術・デザイン科50人、小学生24人

概 要：当NPOと常葉大学附属菊川高校美術・デザイン科が協働でジュニアアート教室を開催。「アートのチカラで地域を元気にすること」を目的に、地域の子どもたちと若手アーティストをつなぐことで、子どもたちの発想力・想像力を育む場を提供している。今回は、交流イベント「茶畑の中心で愛を叫ぶ！」にあわせて、「茶畑にアートを！」をテーマに、会場の看板・装飾やグッズを制作した。



「茶畑の中心で愛を叫ぶ」ジュニアアート教室ワークショップ

日 時：第1回 6月23日 事前打ち合わせ・ワークショップ（高校生リーダー）

第2回 7月19日 チャバチューワークショップ（全高校生対象）

会 場：第1回 プラザきくる2階ミーティングスペース

第2回 プラザきくる3階 E301 会議室

参加者：高校生55人、教員1人

概 要：イベント会場を装飾するためのアイデア出しのためのワークショップを、美術・デザイン科の生徒対象に実施した。

